

## 資料1 施策の体系図

第Ⅲ期計画	第Ⅳ期計画
<b>【総論】</b> <b>I 教育振興ビジョン改定の趣旨</b> <b>II 教育振興ビジョン改定の背景</b> 1 那須烏山市の地域的特性 2 社会の動向 3 教育の動向 4 法改正による教育改革 <b>III 教育振興ビジョン（Ⅲ期計画）の位置付けと期間</b>	<b>前文</b>
	<b>第1章 計画の考え方</b> 1 策定の趣旨 2 策定根拠 3 計画の位置づけ 4 社会・教育の動向 5 計画の期間及び運用
<b>IV 那須烏山市の教育の基本理念と目標、基本方針</b> <b>基本理念</b> 夢をもち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり  <b>【各論】</b> <b>I 知の教育</b> 基本施策1 学びと育ちを大切にした幼児教育 基本施策2 知的好奇心を高める学習指導 基本施策3 情報活用能力を育成する情報教育 基本施策4 共存社会へ向けた国際理解教育 <b>II 心の教育</b> 基本施策5 一人一人を活かす児童・生徒指導 基本施策6 自立する力を支援する特別支援教育 基本施策7 地域の課題に対応した生涯学習 基本施策8 郷土の歴史を尊重する文化振興 <b>III 命の教育</b> 基本施策9 命の大切さを知る健康教育 基本施策10 危機意識を高める安全教育 基本施策11 感謝の気持ちを育む食に関する指導 基本施策12 健康や体力保持増進のための生涯スポーツ	<b>第2章 本市教育の成果と現状・課題</b> 1 第Ⅲ期計画の検証 2 アンケート結果 3 本市教育の現状と課題
	<b>第3章 那須烏山市の教育のめざす姿</b> 1 <b>基本理念</b> 未来へ羽ばたく力を育み、ともに創る新たな人づくり  2 基本目標及び基本施策 目標1 確かな学力と豊かな学びの育成 施策1－1 主体的・対話的で深い学びの実現 施策1－2 ICTを活用した個別最適な学びの深化 施策1－3 発達段階に応じた学びの連続性の確保 施策1－4 幼保連携型認定こども園の適正な運営 目標2 豊かな心と健やかな体の育成 施策2－1 発達支持的生徒指導の充実 施策2－2 心の健康と豊かな人間性の育成 施策2－3 健康教育と体力向上による健やかな体づくりの推進 施策2－4 よりよく生きる力の育成 目標3 地域に根ざした文化と誇りの醸成 施策3－1 郷土の自然・歴史・文化を学ぶ教育の推進 施策3－2 文化・芸術・スポーツを通じた豊かな感性の育成 目標4 安全・安心で持続可能な学校・生涯学習施設づくり 施策4－1 安全・防災・健康管理の充実 施策4－2 学校施設・生涯学習施設の長寿命化と環境整備 目標5 誰一人取り残さない共生社会の実現 施策5－1 特別支援教育と個別支援体制の充実 施策5－2 多様性を尊重するインクルーシブ教育の推進 施策5－3 不登校児童生徒への総合的支援の充実 目標6 地域とともに歩む教育の推進 施策6－1 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの充実 施策6－2 部活動の地域展開と地域クラブの育成 施策6－3 生涯にわたる学習の充実  ※主な取組（具体的施策）、成果指標は施策の中で説明
<b>資料編</b>	<b>第4章 効果検証</b> 1 進行管理
	<b>資料編</b>

## 資料2 成果と課題

### 1 第Ⅲ期計画の検証

#### 基本施策1 学びと育ちを大切にした幼児教育

園内研修の充実により、保育者の幼児理解と実践の質が着実に向上し、安全・健康面の取組も継続して強化された。一方で、**就学前から小学校への接続における情報共有の仕組みや責任分担の明確化が課題**である。

今後は、園・小・家庭が「10の姿」を共通言語として活用し、幼小接続を計画的に支える体制整備を進める。

##### 【推進指標】

	基準値 (2019)	R 6 (2024)	目標値 (2025)
子育て環境や支援についての満足度	不満 (11.1%) 満足度が低い (40.2%) (H30.12 市民ニーズ調査)	R 6 調査なし 【R 5 調査】 不満 (10.4%) 満足度が低い (45.5%) (R6.3 市民ニーズ調査)	不満 (5.0%) 満足度が低い (30.0%)

#### 基本施策2 知的好奇心を高める学習指導

授業改善と学力調査の分析に基づく学校の取組が定着し、学びの充実が進展した。しかし、分析結果を**児童生徒の自主・自律的な行動に結び付ける仕組みや小中接続における教材・評価観点の一貫性が不十分**である。

次期計画では、探究・表現・振り返りの循環を重視した授業設計を標準化し、協働的な学びを深化させる。

##### 【推進指標】

	基準値 (2019)	R 6 (2024)	目標値 (2025)
「学校での学習に進んで取り組んでいますか。」の間に「とてもそう思う」と回答した児童生徒（小学5・6年、中学生）の割合 (那須烏山市調査)	令和3年度より実施	「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」と回答した児童生徒（小学4・5年、中学2年生）の割合 (とちぎっ子学習状況調査) 小4：85.5% 小5：77.7% 中2：74.2%	90%以上

### 基本施策 3 情報活用能力を育成する情報教育

ICT 環境の整備と支援体制の充実により、授業改善と情報モラル教育が進んだ。一方で、**学習外の場面を含む端末活用や、校務 DX と学習 DX の相乗的な推進**が課題として残る。

次期では、情報の見極め・再構成・共有の力を育成する授業展開と、データ活用による支援体制の拡充を図る。

#### 【推進指標】

授業に I C T を活用して指導する能力（「できる」「ややできる」と回答） （学校における教育の情報化の実態等に関する調査）	基準値（2019）	R6（2024）	目標値（2025）
	74.0%	78.6%	90%以上

### 基本施策 4 共生社会へ向けた国際理解教育

ALT や専科教諭、大学連携による英語教育の質的向上が進み、児童生徒の言語活動の機会が広がった。一方、小中接続の観点から**発信型のコミュニケーション力を段階的に育む体系化**が課題である。

次期では、CAN-DO リストを活用した到達目標の明確化と授業改善を進め、国際感覚と実践的英語力を養う。

#### 【推進指標】

「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい」と答える児童生徒の割合（小6・中3） （全国学力・学習状況調査）	基準値（2019）	R6（2024）	目標値（2025）
	小6：65.7% 中3：60.1%	「英語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合（小6）（全国学力・学習状況調査） 小6：70.3%  「1、2年生の時に受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなど英語で伝え合う活動が行われていたと思う」と回答した生徒の割合（中3）（全国学力・学習状況調査） 中3：69.5%	小6：80% 中3：75%

## 基本施策5 一人一人を活かす児童・生徒指導

接続期における情報共有や学級経営の可視化、いじめ防止の体制強化など、組織的な児童生徒指導が定着した。ただし、**安心感や所属感を高める学級経営の深化や、いじめなどの問題行動への組織的な対応、未然防止に基づく発達支持的生徒指導等**が引き続き課題である。

次期では、結果のPDCA化と協働的相談体制を通じて、組織としての生徒指導力をさらに高める。

### 【推進指標】

「いじめや不登校のない学校にしようとしていますか。」の間に「とてもそう思う」と回答した児童生徒(小5・6年、中学生)の割合 (那須烏山市調査)	基準値 (2019)	R6 (2024)	目標値 (2025)
	令和3年度より実施	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 (全国学力・学習状況調査) 小6：96.8% 中3：95.5%	90%以上

## 基本施策6 自立する力を支援する特別支援教育

専門家によるアセスメントと関係機関連携が進み、個別支援と特性理解の共有が深化した。一方、**保護者との合意形成や障がい理解を促す啓発活動**が課題として残る。

次期では、個別支援計画の質向上と授業・学級のユニバーサルデザイン化を推進し、切れ目のない支援体制を確立する。

### 【推進指標】

「友だちとの違いを認め合いながら、楽しく過ごしていますか。」の間に「とてもそう思う」と回答した児童生徒(小5・6年、中学生)の割合 (那須烏山市調査)	基準値 (2019)	R6 (2024)	目標値 (2025)
	令和3年度より実施	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 (全国学力・学習状況調査) 小6：76.8% 中3：79.0%	90%以上

### 基本施策7 地域の課題に対応した生涯学習

多様な講座・文化事業を通じて市民の学びの場を拡充し、地域参画の機会を提供した。しかし、人口減少・高齢化により**若年層・就労世代の参加が伸び悩む**など、裾野拡大が課題である。

次期では、オンライン化や夜間開催等により参加しやすい学習機会を整備し、学びと地域づくりの循環を強化する。

#### 【推進指標】

	基準値（2019）	R6（2024）	目標値（2025）
年間の市立公民館の利用者数	69,002 人	64,157 人	71,000 人
年間の市立図書館の入館者数	87,202 人	54,824 人	110,000 人

### 基本施策8 郷土の歴史を尊重する文化振興

文化財の保護・公開が進み、デジタル発信やジオパーク推進など新たな学習・観光資源の活用が進展した。一方、文化財所有者や民俗芸能団体の**高齢化に伴う継承課題**が顕在化している。

次期では、学校・地域・観光との連携による文化継承の循環を構築し、若手育成と記録保存を推進する。

#### 【推進指標】

依頼されて行った小中高等学校等での講座や体験学習機会の回数	基準値（2019）	R6（2024）	目標値（2025）
	2 2 回	2 2 回	2 5 回

### 基本施策9 命の大切さを知る健康教育

生活習慣病検診や体力向上プログラムの継続により、健康意識の向上と学校・家庭の連携が進んだ。一方、**体力テストの結果分析や継続的改善の仕組み化**が課題である。

次期では、健康・体力・生活習慣を総合的に評価する指標を整備し、学年段階に応じた実践的健康教育を体系化する。

#### 【推進指標】

児童生徒の標準体重の割合 （那須烏山市養護教諭部会調査）	基準値（2019）	R 6（2024）	目標値（2025）
	男子：86.2% 女子：88.5%	男子：82.8% 女子：87.7%	90%以上

## 基本施策 10 危機意識を高める安全教育

地域協働による見守り体制や安全設備の整備が進み、児童生徒の安全意識の向上が見られた。しかし、**見守り隊の高齢化や児童生徒自身の主体的判断力育成**が今後の課題である。

次期では、データに基づく危険箇所対策と体験的学習を組み合わせ、実行力ある安全行動の育成を目指す。

### 【推進指標】

「交通安全に気を付けて、登下校していますか」の間に「とてもそう思う」と回答した児童生徒(小学5・6年生、中学生)の割合 (那須烏山市調査)	基準値 (2019)	R6 (2024)	目標値 (2025)
	令和3年度より実施	調査なし	90%以上

## 基本施策 11 感謝の気持ちを育む食に関する指導

授業と給食を通して食育の取組が定着し、地域連携献立や衛生管理も充実した。一方、**学校と家庭を結ぶ取組や行動変容の評価指標**が十分ではない。

次期では、家庭での再現活動や意識調査を通じて、食行動の定着と感謝の心を育む循環を確立する。

### 【推進指標】

平均残食率 (児童生徒、教職員等を含む)	基準値 (2019)	R 6 (2024)	目標値 (2025)
	13.03%	12.97%	12%

## 基本施策 12 健康や体力保持増進のための生涯スポーツ

スポーツ教室や大会の充実により、市民の参加機会が広がり、健康増進と交流の場が拡充した。一方、**安全確保とともに、初心者・女性・親子層の参加拡大や施設維持管理の強化**が課題である。

次期では、参加率・継続率等の指標を用いた成果把握を進め、計画的な施設運営と多世代型のスポーツ推進を図る。

### 【推進指標】

	基準値 (2019)	R6 (2024)	目標値 (2025)
体育協会専門部活動支援 スポーツ少年団活動支援	交付金による活動支援	交付金による活動支援	継続を目指す
スポーツをする機会の提供 参加型スポーツ事業の実施	スポーツ教室開催 推進、ハイキング、マ	スポーツ教室開催 推進、ウォーキング、	継続のほか、身近な環境で取り組めるスポーツ

身近な環境で取り組めるスポーツの推進	ラソン大会、駅伝大会の実施	マラソン大会、駅伝大会の実施	事業の新規展開やPRを目指す
スポーツ施設の維持管理	定期巡回点検の実施（週2回）	定期巡回点検の実施（週2回）、破損箇所の早期修繕	継続のほか、個別計画に基づく維持管理の実施を目指す
スポーツ施設の利用促進	今後集計予定	窓口に来なくても利用申請等ができる。（継続）	施設利用の増加を目指す

## 2 アンケート結果（全国学力・学習状況調査・とちぎ子学力調査より）

（※この節は後に、分析結果と市内比較をもとに文章化予定）

- ・「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。」

→「全くない」「あまりない」…本市小5（57.6%）中3（68.6%）

全国〃（60.6%）〃（70.3%）

- ・不登校発生率

- ・働き方改革に関する意識調査

### 資料3 基本理念・基本目標の設定理由

#### 【基本理念の設定（変更）理由】

- 地域の未来を支える「人づくり」が市政全体の最重要課題となっていること。
  - ⇒サブタイトルに用いていた「人づくり」をメインタイトルに
  - ⇒全市民の目指す方向性＝「未来」、予測困難な時代を生き抜く力＝「羽ばたく力」
- 第3期計画の課題から見えた子どもを取り巻く環境の変化への対応。
  - ⇒「一人ひとりが」もつ特性や状況に応じた支援を重視
  - ⇒心身の成長や自己肯定感の向上を含めた“総合的な成長”＝「輝く教育」
- 地域の人材や資源を活用し、社会全体で子どもの成長を支える仕組みづくりの重要性。
  - ⇒教育現場が直面する課題解決に必要な家庭や地域の力＝「ともに創る」、「地域とともに」とし、協働を基盤とした教育文化の醸成を図る

#### 【基本目標の設定理由】

	基本目標	設定理由
目標1	確かな学力と豊かな学びの育成	急速に変化する社会で自立して生きるためには、基礎的学力と探究的な学びの両立が不可欠であるため、確かな学力の定着と学びの質の向上を図る。
目標2	豊かな心とすこやかな体の育成	子どもが困難を乗り越えて成長するには、心身の健康が土台となるため、社会性の育成と生活習慣の確立を重視した教育環境を整備する。
目標3	地域に根ざした文化と誇りの醸成	地域の自然・歴史・文化は子どもの自己形成の基盤であるため、郷土に学ぶ体験を通じて地域への愛着と主体的に関わる力を育成する。
目標4	安全・安心で持続可能な学校・生涯学習施設づくり	学びの場の安全性と持続性は教育の前提であるため、施設の老朽化対策や防災機能の強化を進め、安心して学べる環境を確保する。
目標5	誰一人取り残さない共生社会	多様な子どもが等しく学ぶ権利を守るため、個別支援や不登校支援、日本語指導等を充実させ、包摂的な学びの環境を整備する。
目標6	地域とともに歩む教育	教育課題が複雑化する中、学校だけでは解決できないため、地域の多様な力を活かした協働体制を構築し、地域全体で子どもを支える取組を進める。

## 資料4 3期計画との関連性

第IV期計画の基本目標	基本施策	関連する第III期計画の基本施策	主な関連内容・継承ポイント
目標1 確かな学力と豊かな学びの育成	施策1-1 主体的・対話的で深い学びの実現 施策1-2 ICTを活用した個別最適な学びの深化 施策1-3 発達段階に応じた学びの連続性の確保 施策1-4 幼保連携型認定こども園の適正な運営	基本施策2 知的好奇心を高める学習指導 基本施策3 情報活用能力を育成する情報教育 基本施策4 国際理解教育 基本施策1 学びと育ちを大切にした幼児教育	学力調査・授業改善の定着を踏まえ、探究・表現・振り返りの循環的学びを標準化。GIGA スクール深化、デジタルリテラシー、CAN-DO 活用など、学びの質的深化を継承・発展。
目標2 豊かな心と健やかな体の育成	施策2-1 発達支持的生徒指導の充実 施策2-2 心の健康と豊かな人間性の育成 施策2-3 健康教育と体力向上による健やかな体づくりの推進 施策2-4 よりよく生きる力の育成	基本施策5 一人一人を活かす児童・生徒指導 基本施策9 命の大切さを知る健康教育 基本施策11 食に関する指導	いじめ防止や学級経営の改善成果を踏まえ、安心感・所属感を高める生徒指導とメンタルヘルス教育を推進。健康・食育・体力向上を通してたくましく生きる力を育成。
目標3 地域に根ざした文化と誇りの醸成	施策3-1 郷土の自然・歴史・文化を学ぶ教育の推進 施策3-2 文化・芸術・スポーツを通じた豊かな感性の育成	基本施策8 郷土の歴史を尊重する文化振興 基本施策7 地域の課題に対応した生涯学習	文化財保護・地域文化の継承課題を受け、郷土学習や地域文化体験を教育課程に位置付け。学校・公民館・市民協働による文化・芸術活動の推進へ展開。
目標4 安全・安心で持続可能な学校・生涯学習施設づくり	施策4-1 安全・防災・健康管理の充実 施策4-2 学校施設・生涯学習施設の長寿命化と環境整備	基本施策10 危機意識を高める安全教育 基本施策9 健康教育(安全衛生管理) 基本施策11 食に関する指導	防災教育・安全点検・給食衛生管理等の成果を継承し、防災・防犯・衛生・ICT セキュリティを含む包括的安全教育へ発展。施設の長寿命化やDX 環境整備を含め持続可能な教育環境を構築。
目標5 誰一人取り残さない共生社会の実現	施策5-1 特別支援教育と個別支援体制の充実 施策5-2 多様性を尊重するインクルーシブ教育の推進 施策5-3 不登校児童生徒への総合的支援の充実	基本施策6 特別支援教育 基本施策4 国際理解教育 基本施策5 児童・生徒指導	特別支援教育の体系化と外国籍児童生徒支援を統合し、インクルーシブ教育・多文化共生・貧困対策を推進。個別支援計画や支援センター機能を強化し、切れ目のない支援体制を確立。
目標6 地域とともに歩む教育の推進	施策6-1 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの充実 施策6-2 部活動の地域展開と地域クラブの育成 施策6-3 生涯にわたる学習の充実	基本施策7 地域の課題に対応した生涯学習 基本施策8 文化振興 基本施策12 生涯スポーツ	生涯学習・スポーツ・文化事業の成果をもとに、学校・地域・企業・大学の連携による教育協働を深化。部活動の地域移行や学校支援地域本部など、地域総ぐるみの教育体制を構築。

## 資料5 施策体系(主な取組)

基本目標	基本施策	主な取組
目標1 確かな学力と 豊かな学びの 育成	施策1-1 主体的・対話的 で深い学びの実現	◎教科横断的な授業改善とカリキュラム・マネジメントの推進 ◎思考力・表現力を育む探究的学習・表現活動の充実 ・教職員の授業力向上に向けた教員研修の充実 ・学習成果の可視化と学力データの分析活用
	施策1-2 ICTを活用した 個別最適な学びの 深化	・GIGA 端末を活用した個別最適・協働的な学びの両立 ◎教育 DX の推進による学習データ活用と校務効率化 ◎デジタル教材・生成 AI 活用による主体的・対話的で深い学びの実現 ・情報モラル・メディアリテラシー教育の体系化
	施策1-3 発達段階に応じ た学びの連続性の 確保	・幼児教育の質の向上と小学校教育との円滑な接続の推進 ・幼保小中連携カリキュラムの整備 ・学習習慣・生活習慣の基礎形成支援 ・幼児期からの切れ目ない支援体制の構築
	施策1-4 幼保連携型認定 こども園の適正な 運営	・幼児の育成と個に応じた保育の実践 ◎安心・安全に過ごせるこども園環境の整備 ・保護者・地域・学校等との連携による開かれた園運営 ・子育て支援事業の充実 ・教職員の資質向上研修と健康管理体制の充実
目標2 豊かな心と健 やかな体の育 成	施策2-1 発達支持的生徒 指導の充実	◎いじめの早期発見・未然防止に向けた学校全体の組織的取組の強化 ・児童生徒の発達理解に基づく生徒指導体制（校内委員会等）の整備 ・SNSトラブル等の新たな課題に対応した指導の充実 ・家庭・地域・関係機関と連携した総合的生徒支援
	施策2-2 心の健康と豊かな 人間性の育成	・「考え、議論する道徳」を中心とした道徳教育の体系的推進 ◎命の教育（生命尊重・性に関する指導等）の充実 ・心の健康を支える学級づくりと安心な人間関係形成 ・SC・SSW と協働した相談体制の強化
	施策2-3 健康教育と体力 向上による健やか な体づくりの推進	・健康診断結果に基づく保健指導・生活習慣改善の推進 ・体育授業改善と運動習慣の定着による体力向上 ◎栄養教育・給食指導を軸とした食育の充実 ・親子給食、農業体験等を通じた学校・家庭・地域の連携強化
	施策2-4 よりよく生きる 力の育成	・自己理解・職業理解を深めるキャリア教育の体系的推進 ・主権者教育による社会参画意識と判断力の育成 ◎地域・企業等と連携した探究的・協働的学習の充実 ・ウェルビーイングを視点とした総合的な学習の展開

目標3 地域に根ざした文化と誇りの醸成	施策3-1 郷土の自然・歴史・文化を学ぶ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土学習・地域史・文化財を活用した体験学習の充実</li> <li>・地域文化・伝統芸能・地場産業の継承活動への参加支援</li> <li>・地域人材との協働学習プログラムの創出</li> <li>・SDGs・環境教育と連動した地域探究学習の推進</li> </ul>
	施策3-2 文化・芸術・スポーツを通じた豊かな感性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化・音楽・演劇・美術等の表現活動の支援</li> <li>・スポーツ・文化行事を通じた地域交流と世代間連携の促進</li> <li>・生涯学習施設を核とした文化振興</li> <li>・市民・NPO・企業との協働による文化事業の展開</li> </ul>
目標4 安全・安心で持続可能な学校・生涯学習施設づくり	施策4-1 安全・防災・健康管理の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・生涯学習施設における定期的な安全点検の実施と改善計画の策定</li> <li>・地域と連携した防災訓練の実施および災害時の連絡・避難体制の強化</li> <li>・感染症対策・熱中症予防など健康管理体制の強化</li> <li>・危機対応マニュアルの見直しと教職員・利用者の危機管理研修の充実</li> </ul>
	施策4-2 学校施設・生涯学習施設の長寿命化と環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・生涯学習施設の老朽化状況の診断と長寿命化計画の策定・実施</li> <li>・耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化等に向けた機能改善整備</li> <li>◎地域利用を見据えた施設配置・機能の見直しおよび適正化</li> <li>・施設維持管理における予防保全型の計画的な点検・整備の推進</li> </ul>
目標5 誰一人取り残さない共生社会の実現	施策5-1 特別支援教育と個別支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の質向上と関係機関連携の強化</li> <li>・特別支援教育コーディネーターの役割明確化と研修充実</li> <li>・特別支援学校や医療機関等の外部専門機関との連携強化</li> <li>・ユニバーサルデザインによる授業改善・環境整備の推進</li> </ul>
	施策5-2 多様性を尊重するインクルーシブ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎外国籍児童生徒への日本語指導体制の充実</li> <li>・経済的困難家庭への学習・就学支援の拡充</li> <li>・人権・多文化共生教育の充実と意識啓発</li> <li>・誰もが学び続けられる地域支援ネットワークの形成</li> </ul>
	施策5-3 不登校児童生徒への総合的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・関係機関の連携による早期支援体制の強化</li> <li>◎個別最適な学習保障と在籍校とのつながり支援の充実</li> <li>◎教育支援センターの機能充実と相談支援の拡充</li> <li>・教職員の専門性向上と未然防止に向けた学校体制の整備</li> </ul>
目標6 地域とともに歩む教育の推進	施策6-1 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校支援地域本部の機能強化と人材発掘・育成</li> <li>・コミュニティ・スクールの拡充と学校運営協議会の活性化</li> <li>・学校と家庭・地域・企業・高校・大学等が連携する課題解決型プロジェクトの推進</li> </ul>
	施策6-2 部活動の地域展開と地域クラブの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域スポーツ・文化クラブ化に向けた体制整備</li> <li>・指導者の確保・養成と安全管理体制の整備</li> <li>・学校・地域・関係団体の連携による運営協議会の設置</li> <li>・地域を舞台としたキャリア・探究教育の推進</li> </ul>
	施策6-3 生涯にわたる学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の主体的な学習活動支援と情報発信の充実</li> <li>◎公民館・図書館等による多様な講座・読書活動の推進</li> <li>・人権・男女共同参画・国際理解等の社会課題に対応した学習機会の拡充</li> <li>・学校と地域の協働による学びの循環型支援体制の整備</li> </ul>